

弥生小だより

令和7年1月10日発行

No. 10

文責 井上

本年もよろしくお願ひいたします。



粘り強く挑戦し

新しい自分を見つける年に！

皆様あけましておめでとうございます。今年は巳年です。

一説によると、蛇は古代から「再生や永遠」の象徴とされています。皮を脱ぎ捨て新たな姿に生まれ変わる姿がその理由です。巳年は、新しい挑戦や変化に対して「粘り強く」取り組みむことができ、前向きな姿勢を示す年と言われています。

今年も“粘り強く挑戦”する姿勢を大切に、ぐんぐん成長してほしいと願っています。

また蛇は、たくましい生命力があり、脱皮をするたびに表面の傷が治癒していくことから、医療、治療、再生のシンボルともされているそうです。

大きなけがや病気がなく、安全で平和な1年になってほしいと心から願っております。本年も職員一同、子どもたちの成長を支えて行けるよう努力を続けて参ります。保護者の皆様、地域の皆様には弥生小学校の教育の更なる充実に向け、ご理解とご支援を賜りますようお願いいたします。



挑戦するための土台

3学期始業式も、防寒及びインフルエンザ等の感染防止対策のためリモートで行いました。リモートで行っても弥生小の子どもたちは、よい姿勢で話を聞くことができ素晴らしいです！

始業式では、今年も挑戦することの大切さについて話しました。特に、「言葉にする」ことの大切さを伝えました。何をがんばるのか、どのような努力をするのかを「言葉」にすることで行動につながります。思っただけでは行動につながりにくいのです。

このことは「けてぶれ学習法」の「ぶ（分析）」と同じです。思うだけでなく、言葉にすることが成功の第一歩なのです。目標や努力することについて声に出したり、紙に書いたりする。そして、振り返る。上手くいかなかったこともちゃんと言葉にしてみる事が大切です。授業や行事などの振り返りも大切にしてほしいと思います。

この話をした後の休み時間、ある子が「校長先生、私今年は縄跳びをがんばります！」と教えてくれました。この素直さに、また感動しました！

どの学年もよい姿勢です！感動です！



新春から縁起がいろいろ！

「校長先生、おみくじをどうぞ！」と森脇先生が勧めてくれました。箱の中を覗くと、3年1組のみんなが作ってくれたおみくじがいっぱい入っていました。

今年は初詣でおみくじを引いていなかったため、新年最初の運試しです。箱の中に手を入れ、慎重にお札を選びました。

緊張しながらおみくじを開くと・・・、なんと大吉ではなく「スーパー大吉」でした！思わず叫んでガッツポーズをしてみました。よく読むと、お年玉がもらえると書かれていました。とっても楽しみです(笑)。

このような、ちょっとした遊び心のある取組は大人でも嬉しいものです。忙しさにかまけて、このような



裏面あります

遊び心を忘れないことも大切だと感じた新年です。各教室を覗くと、新春らしく双六を楽しんでいるクラスもあり、子どもたちの笑顔があらわれていました。

収穫祭～今年もお世話になりました～

昨年の12月19日に、2年生と5年生が米作りでお世話になった大田北陵会の皆様をお招きし、お米の収穫感謝祭を行いました。

2年生は、切れのあるダンスを見ていただき、かわいいメダルなどのプレゼントをお渡ししました。

5年生は、総合的な学習で学んだ集大成「米挑戦～スーパーライス～」(学習発表)を見ていただきました。5年生の発表は、「地産地消」、「トレーサビリティ」など様々なキーワードについて調べたことを劇にして伝えるのですが、老人会の方から「難しいことをよく調べていましたね」、「分かりやすかったです」とお褒めの言葉をいただきました。

子どもたちに貴重な学びの場を与えていただき、田植え、案山子づくり、稲刈りと大変お世話になりました。心より御礼申し上げます。



新しいステージに向かって



毎年この時期になると、北陵中学校の先生が出前授業(6年生)に来てくださいます。今年は、お忙しいなか数学の美山主幹教諭に来ていただき「符号を使った計算のきまり」について学びました。

いきなり「飴が8個あります。3個食べると()個()」という問題から授業は始まりました。小学校1年生の問題に、子どもたちも「あれ?こんなに簡単な問題でいいの?」という表情です。

$8-3=5$ 、5個あまるや5個になるという答えになります。ここからが、

中学生への入り口です。

「飴が8こあります。10個食べたい。()個()」むむ・・・、 $8-10=?$ 、子どもたちの頭がフル回転し始め、色々な答えが出てきました。

2個足りません、2個必要です、2個買いに行く、2個もらう、2個がまんする・・・、子どもの発想は実に豊かです。このような問題を通じて「プラス」と「マイナス」について気付くというとても分かりやすい授業でした。このような授業を受けることによって、次のステージに向かってイメージが湧いたり、心構えができたりします。

また4年生のある男の子は、2学期の振り返りに次のような心構えを書いていました。

ぼくは、4年生の2学期は自分の長所を全て出し切っていないと思いました。なので3学期は、言い換えると5年生の0(ゼロ)学期と考えて5年生になる準備をします。

3学期は、残り50日を切りました。あっと言う間に過ぎていきます。次のステージに向かって、日々の生活を大切にしてほしいと思います。

あったかい話

地域の方から、心温まるエピソードを伺いました。ある通学班が並んで登校している時、1年生が転んでしまいました。すぐさま班長が転んだ子に駆け寄り、怪我はないか声をかけました。すると周りの子も心配そうにその様子を見守っていたそうです。怪我はたいしたことはなく、みんなも笑顔になりまた一緒に歩き出したそうです。聞いている私まで笑顔になりました。ありがとうございます。

◆1月～3月の主な行事予定や授業短縮等は弥生小学校HPでご確認ください。

【弥生小HPは右QRコードから】



